

初夏の陽射しが心地よく、日ごとに夏の気配が感じられる季節となり、「エコみらいひたち」の工事現場の周辺では鳥のさえずりが癒しとなっております。このような中、工事現場では雨水集排水施設の整備に着手しました。熱中症への対策等を十分に行いながら、引き続き、安全、安心を第一に工事を進めてまいります。



雨水集排水施設の整備に着手

雨水集排水施設は、コンクリート製の「側溝」や「集水マス」を組み合わせることで製作する構造物で、雨水を集めて排水する機能があります。

処分場に降った雨水のうち、廃棄物に触れていないものは、埋立地や管理施設エリアの外周に設置した雨水集排水施設(側溝)から防災調整池に集められます。この調整池で一時的に雨水を貯め、放流量を調整したうえで、鮎川へ排水します。

左下の写真は、一定の傾斜をつけて、雨水を自然流下するための「自由勾配側溝」です。また、右下の写真は、雨水の流下方向を変えるため、屈曲箇所に設置した「集水マス」です。



【お問い合わせについて】

担 当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所
電 話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)
又は二次元コードからご確認いただけます。



地元4学区住民協議会による現地視察

3月22日に、地元4学区住民協議会が発足して初めての現地視察が行われました。当日は、現場事務所にて事業団から工事状況の説明を行った後、工事現場へ移動して施工状況を確認していただきました。参加者からは工事の安全性などに関する質疑があり、新処分場への理解を深めていただく機会となりました。



＜現場事務所での工事状況の説明＞



＜工事現場での施工状況の確認＞

トンボ池の保全状況

防災調整池の北側に設置しているトンボ池では、ネキトンボのヤゴとおたまじゃくしが確認されました。季節がうつろい、元気に成長した姿を見るのが楽しみです。

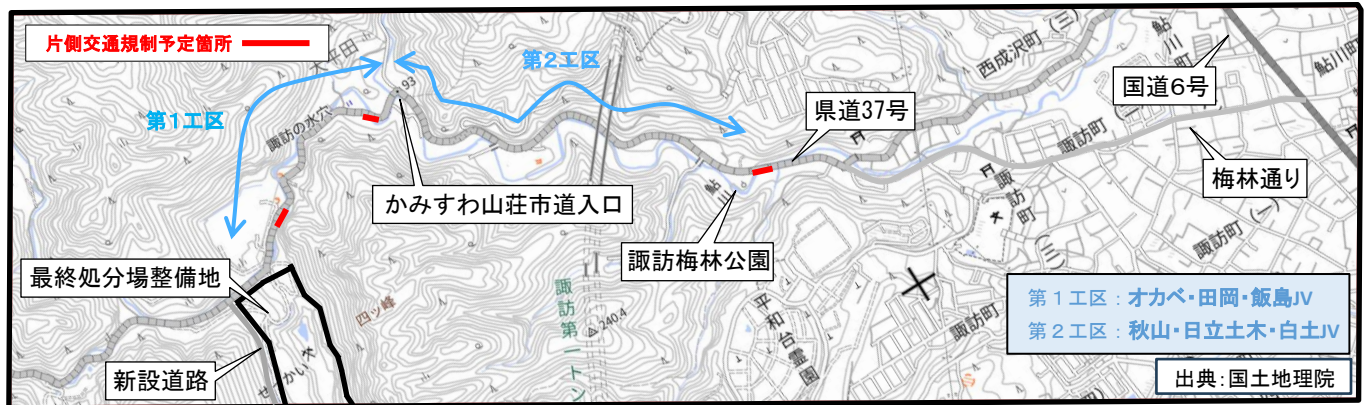


ネキトンボのヤゴ



おたまじゃくし

上下水道工事に伴う交通規制予定箇所（6月）



処分場建設工事中の環境モニタリング

工事中の環境モニタリングの結果

● 地下水(3月測定)

処分場周辺に設置しているモニタリング井戸の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどないことを確認しました。

● 水質(2月測定)

鮎川の上流・下流地点の水質を測定したところ、工事の影響はほとんどなく、すべての測定項目で基準値未満でした。



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果